



令和4年10月発行 No.34

内容

- ◇ブラインドサッカー◇スポーツ少年団
- ◇本庄早稲田の杜ミュージアム
- ◇県展・埴保己一顕彰祭
- ◇学校生活の様子◇図書館の夏休み企画

# 市教委だより

編集・発行：本庄市教育委員会

## 共生社会の実現を目指して



## ブラインドサッカー 東日本リーグ2022 in 本庄

6月5日（日） 若泉運動公園多目的グラウンド

**本庄市は障害者スポーツを応援しています!!**



ブラインドサッカーって  
どんなスポーツ？



ブラインドサッカーはパラリンピックの正式種目にもなっていて、種目名は「5人制サッカー」といいます。選手たちは視覚以外の感覚を研ぎ澄ませ、ボールの転がる音やフェンスに当たる音、仲間の声、相手が走る音や気配などを頼りにプレーします。仲間と自分を信じ、見えないとは思えない勢いでプレーする姿は迫力満点です。

ブラインドサッカーは、目の見える人でも、アイマスクを着ければ試合に参加することができ、障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツです。本庄市は、盲目の国学者塙保己一の生誕の地であり、これからも、障害の有無にかかわらず、地域で共に支え合い安心していきいきと暮らしていける共生社会の実現を目指していきます。

## ロービジョンフットサル岩田朋之選手からのメッセージ

私は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火ランナーとして、昨年、埼玉県を走らせていただきました。なぜ本庄市で聖火ランナーを希望したかと言うと、「ロービジョンフットサル日本代表を継続的にサポートしてくれた、本庄市の皆さんへ恩返しをしたい」という思いからです。

2016年から縁あって、本庄市をロービジョンフットサル日本代表合宿の拠点地として活動するようになり、本庄市の皆さんと関わりをもち、交流を深めてきました。

規模の小さいロービジョンフットサルは、日本代表として活動するにあたり、自己負担を重ねながら活動を続けていました。そんな僕たちに、本庄市の皆さんは合宿における食事面や宿泊面のサポートを提案してくださいました。

本庄市の皆さんと、ロービジョンフットサルを通じて関わる中で、①本庄市は盲目の国学者塙保己一の生誕の地であること②本庄市はかつて宿場町として栄えていたため、人々を助け合う文化があること③ロービジョンフットサルは、まだまだ規模が小さくとも、日本代表としてリスペクトの気持ちを忘れてはいないということ、この3つを本庄市の皆さんから教えていただきました。

聖火ランナーとして埼玉県を走ることで、本庄市の素晴らしい人柄や地域性を広め、また、8年前に中途視覚障害者となり、苦しい時を過ごしていた僕を救ってくれたロービジョンフットサルに恩返しをするとともに、このパラスポーツが広まることを願っています。



10月10日(月・祝)に開催されるスポレクフェスタ2022において、岩田選手による聖火ランナー体験が行われます。  
詳しくは、広報9月15日号の折り込みチラシをご覧ください。

## 本庄市スポーツ少年団紹介

### 本庄アタッカーズ



“ドッジボール”をやった事のある人は多いと思いますが、それが競技スポーツになっている事を知っている人は少ないのではないのでしょうか。1991年に日本ドッジボール協会が設立され、それまで地域、学校、果てはクラス毎に違っていたルールが統一され、遊びが競技になりました。

今年2回、全国の予選を勝ち上がったチーム同士で優勝を決める全国大会が開催されています。

競技ドッジボールに興味を持った小学生の見学を待っています。

活動日時 ①土・日14:00~18:00 水(自主練)18:00~21:00  
②金 19:00~21:00  
活動場所 ①本庄南小学校 体育館  
②北泉小学校 体育館  
連絡先 片場 元彦 ☎080-3701-3491  
ホームページ <http://honjoattackers.nomaki.jp/>  
(会費等の詳細はお問い合わせください。)



行ってみよう!

## 本庄早稲田の杜ミュージアム



本庄早稲田の杜ミュージアムは、本庄市と早稲田大学が共同で運営しているミュージアムです。本庄市の歴史や世界の文化に触れてみてはいかがでしょうか？

来館者

3万人突破!



所在地	西富田1011 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター (早稲田大学93号館) 1階
電話	0495-71-6878
ホームページ	<a href="https://www.hwmm.jp/">https://www.hwmm.jp/</a>
開館時間	9:00~16:30
休館日	月曜日(休日の場合は翌日)
入館料	無料



くげひがし くげまえ

## 「久下東・久下前遺跡展 本庄台地の大規模古代集落跡の全貌」

### 企画展

本庄早稲田駅北側に広がる早稲田の杜地区。お買い物をしたり、どこかに行くのに通ったりしたことがあるのではないのでしょうか？

そこは、1,800年も昔から住宅が建てられ、ムラが築かれていた場所なのです。

たてあなじゅうきよあと

企画展では、竪穴住居跡だけでも700軒を超える、埼玉県内でも特に大きな古代集落跡「久下東・久下前遺跡」の発掘調査で見つかった数多くの物から遺跡の全体像に迫ります。



会期	10月8日(土)~12月25日(日)
会場	西富田1011 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター (早稲田大学93号館) 2階情報資料室
入館料	無料

## 第1回 県展入選作品展

美術文化の進展・向上を図るため、「第1回本庄市県展入選作品展」を開催しました。この展覧会では、第70回埼玉県美術展覧会に入選・入賞した方や、招待作品等出展者の方のうち、市内在住、在勤、在学の方の作品を展示しました。

展示作品は、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門にわたり、総作品数は40点を数えました。会期は7月2日(土)から10日(日)まで、本庄市民文化会館ギャラリーにて実施しました。



そうけんぎょう

## 総検校塙保己一先生遺徳顕彰祭

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会主催で、先生の命日である9月12日(月)に見玉総合公園体育館(エコーピア)において「塙保己一先生遺徳顕彰祭」を盛大に開催し、参加者全員が先生の遺徳を偲んで菊の花を供えました。

また、献花の後には、吉田会長が講演を行いました。「塙先生没後二百周年記念顕彰活動を振り返る」をテーマに、昨年度に先生の没後二百周年記念として行われた様々な事業を紹介しました。



## 学校生活の様子

### 外部プールを使った水泳授業の試行



本庄市では、児童生徒の泳力向上や安全性の確保、プール施設の老朽化への対応策を検討しています。今年度は試行的に、本庄西小学校が児玉郡市広域市町村圏組合の余熱利用施設「湯かっこ」を活用した水泳授業を実施しました。

天候の影響を受けず、安全な環境で水泳授業ができ、子どもたちは「水があたたかく、きれいなプールでよかった」「泳力が伸びた」と喜んでいました。

試行の成果や課題を精査し、更に検討を続けていきます。



### 1人1台端末の活用



本庄市では、小中学校の授業などで1人1台端末(chromebook)を活用しています。

今年度は、小学校5年生以上で、外国語科(英語)等の学習者用デジタル教科書を活用しています。今後は、デジタル教科書の効果的な使い方についても研究していきます。

また、小学4年生から中学3年生までを対象とした、「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」を、今年度からchromebookを活用したWEB版で実施しました。アンケート結果をより迅速に把握することができるようになり、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるような環境づくりに生かしています。



## 図書館の夏休み企画

### 本館

8月5日(金)の夏休み手作り工作教室「ダンシングはにぼんをつくろう」では、図書館の蔵書を参考にして17人の児童が素敵な作品を仕上げました。

また、8月10日(水)の「夏休みDVD上映会」では、多くの方がアニメ映画を楽しく鑑賞しました。



▲夏休み手作り工作教室

▲ダンシングはにぼん

### 児玉分館

7月27日(水)に開催した「おはなしのつどい」には、9人の児童と保護者が絵本の読み聞かせや紙芝居、すばなし、わらべうたなど、いつもとちがったおはなし会を楽しみました。

また、8月2日(火)に開催した夏休み応援企画「こども書道教室」には、9人の児童が参加し、夏休みの宿題の作品づくりに取り組みました。

※「すばなし」とは語り手が昔話やおはなしを覚えて語るものです。



▲おはなしのつどい



▲子ども書道教室